作成日 2026 年　8 月　27 日
（最終更新日 20　　年　　月　　日）

「情報公開文書」（Web ページ掲載用）

受付番号： 5509

課題名：卵巣明細胞癌と血栓症との関連因子の検索

１．研究の対象

2000 年 1 月～2025 年 12 月に当院で病理学的に卵巣明細胞癌と診断された方が対象となります。

２．研究期間

研究期間は 2028 年(令和 10 年)12 月 31 日までを予定しています。

３．試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。
利用開始予定日：2026 年 9 月 28 日
提供開始予定日：該当なし

４．研究目的

卵巣明細胞癌は、他の卵巣癌と比べて血栓症を合併しやすいことが知られています。血栓症は治療や予後に影響することがありますが、なぜ卵巣明細胞癌で血栓症が起こりやすいのか、また、どのような患者さんで血栓症が起こりやすいのかについては、まだ十分に分かっていません。
本研究では、卵巣明細胞癌における血栓症の発症に関係する因子を明らかにするため、血液の凝固に関係する tissue factor（TF）や tissue factor pathway inhibitor 2（TFPI2）などのタンパク質、および遺伝子の働きを調節するマイクロ RNA について調べます。これらと血栓症の発症、治療効果、再発、予後などとの関係を検討し、将来的な血栓症の予測や早期診断に役立つ新しいバイオマーカーを見つけることを目的とします。

５．研究方法

保存された腫瘍組織や血液検体を用いて、TF、TFPI2 などの血液凝固に関連するタンパク質の発現を、免疫染色や Western blotting などの方法で調べます。また、保存された血液を用いて、TF、TFPI2 などのタンパク質や、それらの働きに関係すると考えられるマイクロ RNA をリアルタイム PCR 法などにより測定します。さらに、研究用としてすでに樹立されている卵巣明細胞癌の培養細胞を用いて、TF、TFPI2 およびマイクロ RNA などの発現を調べ、患者さんの血液や組織を用いた解析結果と比較します。

６．研究に用いる試料・情報の種類

診療や病理診断のためにすでに採取され、当院で保存されている血液や腫瘍組織を使用します。本研究のために新たな採血や組織採取を行うことはありません。また診療録（カルテ）から治療内容、病理組織学的診断、その他日常診療で得られた年齢や身長・体重などの臨床データ及び血液検査データ等を採取し解析する予定です。使用する試料・情報については、仮名加工後、研究番号のみ付与された検体を用いるため、直ぐに個人情報と特定できる可能性はありません。

７．外部への試料・情報の提供

本研究では、血清中の TFPI2 を測定するため、血液検査などを専門に行う検査会社である株式会社エスアールエル（SRL）に検査を委託します。検査に使用する血清には、個人を直接特定できる情報は付けず、研究用の番号のみを付与した状態で株式会社エスアールエルに提供します。そのため、株式会社エスアールエルにおいて、提供された血清から直ちに個人を特定することはできません。株式会社エスアールエルでは、提供された血清を用いて TFPI2 の測定のみを行い、その測定結果と検体は本校に返却します。

８．研究組織

本校単独研究

９．研究に関する情報公開の方法

研究結果を発表する際には、患者さん個人が特定できないよう個人情報を加工して公表いたします。

１０．研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

使用する研究費は講座研究費です。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

１１．二次利用の可能性

あなたから提供された検体・検査データ等のうち血液検査もしくはマイクロ RNA の解析結果を、将来他の卵巣癌を解析する研究に二次利用させていただく可能性があります。利用する場合は、その研究計画が倫理委員会で承認された上で利用いたします。承認された場合、文書による再同意のご説明、研究内容の通知、もしくはホームページ等での研究概要の公開（研究代表機関、当該研究のホームページ等に掲載）がされます。

１２．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院産科婦人科　伊藤　翼
住所　：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2
連絡先：04-2995-1511（内線 2363）電話対応時間 9 時から 16 時
tito37@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院産科婦人科　伊藤　翼